タイトル

―サブタイトル

山田花子（氏名）

○×日本語学校（所属）

リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。リードサンプルです。（150字程度）

1　サンプルです（見出し前1行空ける）

　本文は、文字の大きさ9ポイント、21字×39行×2段×頁数。但し、タイトルとリードで11行×2段取ります。

　サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

1.1　図版のサンプルです

　サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

（図1）

図1　図のキャプション

サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

1.1.1　サンプルです

　サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

2　注のサンプル

　サンプルです。サンプル[[1]](#endnote-1)です。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです[[2]](#endnote-2)。サンプル[[3]](#endnote-3)です。

3　例文のサンプル

　例文のサンプルです。例文の上下は、1行空けてください。

　（1）例文のサンプルです。

　ただし、次のように例文が連続する場合は、例文と例文の間を1行空ける必要はありません。

　（2）例文のサンプルです。

　（3）例文のサンプルですサンプルですサンプルですサンプルですサンプルですサンプルですサンプルです。

サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

　サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。

参考文献

サンプル（2222）『参考文献のポイント、行間は本文と同じにする』サンプル

サンプル（2222）『参考文献のポイント、行間は本文と同じにする』サンプル

サンプル（2222）『参考文献のポイント、行間は本文と同じにする』サンプルサンプルサンプルサンプルサンプル

1. 注は、脚注ではなく、文末注にする。行間も本文と同じにしてください。注、参考文献を含めて指定ページ内に収まるようにしてください。 [↑](#endnote-ref-1)
2. サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。サンプルです。 [↑](#endnote-ref-2)
3. 注は文末に置くこと。ポイントは本文と同じ9ポイントに。行間も本文と同じにしてください。注、参考文献を含めて、なるべく指定ページ内に収まるようにしてください。 [↑](#endnote-ref-3)